埼玉県立大学情報センター

高原 幸子*

埼玉県立大学図書情報担当

I. はじめに

平成16年度に加盟いたしました埼玉県立大学情報センターです。

埼玉県立大学は平成11年、埼玉県の越谷市に保健・医療・福祉の分野で、高い水準のサービスを提供できる人材を養成することを目的に、全国初の保健医療福祉学部¹⁾の大学として、開設された若い大学です。

また、24年間の歴史を持つ「埼玉県立衛生短期大学」が埼玉県立大学短期大学部と名称を変更して同一地内に併設されました。

そして、現在、保健医療福祉学部の4学科（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、社会福祉学科）と短期大学部の4学科1専攻（看護学科、衛生技術学科、歯科衛生学科、保育学科、助産学専攻）がキャンパスを共有しています。

埼玉県立大学のキャンパスは、非常に個性的でガラス、鉄骨、コンクリートで構築された、近未来的なデザインで、『キャンパスそのものが芸術品』といってもいいかもしれません。

1999年度のグッドデザイン賞金賞を受賞するなど専門家の間でも高い評価を受けています。また、撮影のロケ地としても人気が高く、映画、ドラマ、CMなど様々なメディアに登場しています。一例をあげればLIONのテレビコマーシャルや鈴木亜美のプロモーションビデオ、最近では映画「仮面ライダー THE FIRST」の中で基地としても使われています。

II. 情報センターの現状

当センターは、保健・医療・福祉の分野に関連する人たちの教育と研究のための大学図書館であり、この分野の学問と実践領域に関して情報提供を行っています。主として学生及び教職員の教育研究活動の充実に資するた

め、専門図書、学術雑誌、ビデオ等の収集に努めており、また、学外者に対して可能な限り門戸を開放することにも努めています。学外者への対応については、平成15年6月から「埼玉県立大学情報センター県民公開規程」を改正し、それまで、「医療・保健・福祉従事者」に限定していた貸出のための要件を改め、18歳以上の県内在住、在勤、在学の者に範囲を拡大しました。

平成11年4月、大学の開設とともにオープンし、校舎部分と調和がとれたガラスを多用した斬新なデザインで地上2階建て、バリアフリーの空間として屋上が事務局・校舎・講堂などの棟の2階と連結されています。大学棟と短大棟に挟まれ、本学キャンパスの中央に位置し、総床面積は2,912m²の独立施設です。

1階奥には参考図書室とグループ研究室4室がグループでの学習や研究のために用意されています。さらに開架書庫には中2階があり閲覧ブースとして、各席に情報端末を用意した8席があります。

また、図書館入口より右側には、情報ラウンジがあり、74台のパソコンと7台の共用プリンター、ビデオ学習のためのモニターを設置しています。隣接してスタジオとマルチメディア編集室があります。

事務コーナーの裏側には保存書庫があり、全書架収容能力は、最大で20万冊となっています。

平成17年3月現在で、蔵書数は86,672冊（和書75,801

*Sachiko TAKAHARA：〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820.

（2005年12月6日 受理）

冊，洋書10,871冊），雑誌450種（和雑誌307種，洋雑誌143種），新聞6タイトル，視聴覚資料1400点を所蔵し，看護・医療・福祉といった専門分野の資料の比重が高くなっています。また，平成16年度からは電子ジャーナルも導入しました。

開館時間については平成14年5月から通常期間2時間の開館時間延長が実現し，通常の期間は午前9時から午後9時まで，長期休業期間中については午前9時から午後5時まで開館しています。（4月上旬から5月第2金曜日までは午後7時までになっています）

Ⅲ. おわりに

現在，埼玉県立大学では大学と短期大学部を統合・再編して大学へ一本化する準備を進めており，看護学科をはじめ，各学科の入学定員を増やすとともに「健康開発学科」を新設し，「保健」・「医療」・「福祉」を学ぶ総合的な大学として生まれ変わります。

こうした中で「埼玉県立大学図書館」は平成17年4月に「埼玉県立大学情報センター」と名称を変更し，新たなスタートをいたしました。

今後，埼玉県立大学情報センターは「保健」・「医療」・「福祉」の情報拠点として

1. 保健医療福祉の連携を目指す教育研究活動を支える
2. 地域の保健医療福祉の情報基地
3. 県民に開かれた大学図書館

を目的とし，図書，学術雑誌，視聴覚資料並びに情報環境を整備し，効果的な運用及び提供を行う業務を推進していきたいと思っています。